

12

3日

とめよう! 原発依存社会への暴走 1万人集会

うごかすな老朽原発

核のゴミの
捨て場所
はないぞ!

12月3日(日)午後
大阪市内

ご予約おねがいします。
(会場が決まり次第、本チラシでお知らせします)

原発の
ない社会を!

高浜1・2号機、美浜3号機

老朽原発うごかすな

汚染水の
海洋投棄を
許さないぞ

主催:老朽原発うごかすな!実行委員会

ブログ:「老朽原発うごかすな」で検索
<https://blog.goo.ne.jp/takahamakarakanden>

原発のない社会を目指して 起死回生の1万人集会を実現しよう！

岸田政権は、第211回通常国会で、福島原発事故の教訓から「原発運転期間は原則40年、最長でも60年」とした法律を改悪し、原発の60年超え運転を可能にしました。しかし、世界にも60年を超えて運転した原発はありません、最も老朽な原発でも、運転期間は53年です。地震、火山噴火、津波の多発する日本での原発60年超え運転は、過酷事故を招きかねません。

岸田政権は、原子力の憲法・原子力基本法も改悪し、原発の活用を「国の責務」と位置づけました。さらに、原発運転期間に関する規定を、環境省所管の原子炉等規制法から経産省所管の電気事業法に移し、運転期間の判断権限を利用側の経産省に与えました。原発過酷事故を二度と起こさないために、規制の要として、原発の「利用と規制」を分離した経緯を無視するものです。

しかし、岸田首相がどう願望し、どう法律を変えようとも、経済的利益や政治的思惑で原発の老朽化を防ぐ技術や安全性を高める技術が急に向上することはありません。岸田政権の「原発依存社会」への暴走を許してはなりません！

そもそも、岸田政権の「原発依存社会」への暴走は、福島原発事故以降の政権が、事故の教訓を生かさず、原発維持にこだわり、自然エネルギーへの全面切り替えを怠った結末です。失政の果てです。日本は、太陽光にも、水にも、風にも、地熱にも恵まれています。もし、先見の明がある政権であったなら、原発に費やされた膨大な税金や電気料金を、自然エネルギーを利用する電源、大容量の蓄電法、省エネ機器の開発と普及に回し、今頃、核燃料、化石燃料など必要のない社会を実現し、世界をリードしていたでしょう。

一方、関西電力（関電）は老朽原発・高浜1、2号機、美浜3号機の再稼働を強引に進めています。その関電は、装置の不備、トラブル、原発マネー不祥事、約束違反を多発させています。本来、現在科学技術で制御できない原発を、無理矢理稼働させようとするから、不備やトラブルが生じ、その度に人々を欺かなければならなくなり、そこに闇の部分が発生するのです。

ところで、今、電気は足りています。電力需給がひっ迫するのは、1年のうちの数日です。それも1日の中の数時間です。このような一時的な電力ひっ迫は、節電によって乗り切れます。したがって、放射線被ばくを強い、子々孫々にまで負の遺産・使用済み核燃料を残す原発を稼働させる必要は全くありません。

今こそ、人類の手におえない原発を全廃し、人の命と尊厳が大切にされる社会の実現に向かって、目に見える行動、耳に聞こえる行動に起ちましよう！

「原発依存社会」に向かう法令が成立しても、実行させない闘いを前進させましよう！

12.3「とめよう！ 原発依存社会への暴走 1万人集会」への皆様のご賛同、ご支援、ご参加をお願いします。

老朽原発うごかすな！実行委員会
(連絡先：090-1965-7102)



高浜1号機(左) 2号機 (右)

大事故は突然やってくる!!
約50年間も酷使!!



▶カンパのお願い◀

「12・3集会」へのご支援をお願いいたします。

(郵便振替)

口座記号・番号

00990-4-334563

加入者名

老朽原発うごかすな！実行委員会